学校食育推進リーダー研修会

「食べる力」=「生きる力」の食に関する指導の実践を目指して

令和2年1月29日(水)

県南地区

湯沢市立山田中学校 山中 奈緒子 湯沢市立湯沢東小学校 泉 尚子



湯沢市の学校給食と食に関する指導について

湯沢学校給食共同調理場

湯沢東小

湯沢北中

湯沢西小

湯沢南中

三関小

山田中

山田小

稲川中

須川小

雄勝中

三梨小

稲川支援

川連小

駒形小

雄勝小

皆瀬学校給食共同調理場

皆瀬小

皆瀬中

稲庭小

食に関する指導

教育委員会より 「栄養教諭等の教科等における食 に関する指導要請について」

湯沢市立山田中学校について

1 はじめに

本校は湯沢市郊外の農村地帯にあり、地域で唯一のできた歴ではある。 と全国的にも珍した立ま式が今も受け継がれている。

湯沢市の中でも最も生徒数の 少ない中学校で、今年度は49 名である。

近年,心の教育や総合的な学習の時間における起業教育等の特色ある教育活動を展開している。

2 生徒の実態

欠席や早退,遅刻者がなく,毎日元気に登校している。素値で,何事にも意欲的に取り組むことができる。

給食は、ランチルームに全校が集まり会食している。残食せず、進んでおかわりをする生徒が多く見られる。

朝食の欠食率はほとんどないが、夕食や休日の昼食を含め、 食事の内容には家庭との連携し た指導が必要である。

学校教育目標

自分の花を咲かせよう

~温かな心をもち、磨き合い高め合う生徒の育成~



校内体制の構築

≪管理職≫

- ・無理のない形で進めていく。
- ・長く続けられる体制を構築する。
- ・栄養教諭と連携する場合は、専門的 な立場でポイントやアドバイスをも らう。

校内体制の構築

≪主任会議≫全教職員で食育を進めていくために、
ポイントを絞る。

*山田中学校の食に関わるプラス面マイナス面の洗い出しを行う。

プラス面

少人数なので、一斉指導がしやすい。 総合的な学習内容にも「食」に関する 指導の視点を設けている。

マイナス面

常勤の家庭科教員がいない。

その他

栄養教諭が行う、食に関する指導時間 (1校2時間)を逸脱しない。

総合的な学習の時間を中心にすすめていく

本校の食育体制

管理職 生徒指導主事 体育主任 担当者 学級担任 給食主任 教科担任 栄養教諭 学校医 山田小学校 学校歯科医 学校薬剤師 地元企業 生産者 家庭 地域

- **①実態把握 ・・・** 5月アンケートの実施(1回目)
- ②評価指標を定める

課題から評価指標及び目標値を設定

③食に関する指導の目標の設定

資質・能力の三つの柱と六つの食育の

視点を入れる

全体計画①、②の作成

4実践

⑤評価 ・・・ 12月アンケートの実施(2回目)

食に関する指導の全体計画 の作成について

実 践

食育の推進に対する評価

食に関する指導の全体計画の作成について

①実態把握・・・アンケートの実施

- 1 朝食について
- 2 給食について
- 3 睡眠時間について
- 4 健康(体調)について
- 5 調理経験について
- 6 地域について
- 7 自由記述

生活習慣・食生活に関するアンケート調査

山田中 年 名前

毎日の生活を思い出しながら答えてください。答えの番号に〇をしてください。

〈朝食について〉

問1 朝食は週何日食べますか。

①必ず毎日食べる

②ときどき食べない

③ほとんど食べない

問2 「問1」で「②~③」と回答した人に聞きます。その理由は何ですか。(2つまで)

①お腹が空いていない

②気分がすぐれない

③食べる時間がない

④やせたい

⑤食べる習慣がない

⑥休みの日は食べない

⑦食事の用意ができていない

(8)その他 (

アンケートの結果

内 容	結果
・朝食について	毎日食べる 93.9%
公会について	残さず食べる 73.5%
・給食について	給食で地場産食材を使用していることを知っている 61.2%
・睡眠時間について	11時までに就寝している 51%
・健康について	立ちくらみ、めまい、心身のだるさ、やる気がおきない 29%
・調理経験について	家庭で料理を作る 69%
よれば明細について	地域が好き 71%、郷土料理を継承していきたい 82%
・地域理解について	地域で採れる野菜の旬を知っている 51%

自由記述

- •湯沢のおいしいものを知りたい。郷土料理を多く知りたい。
- ▪米作りに興味がある。
- 魚には、どんな栄養があるか。
- もっと料理が上手になる方法について興味がある。
- 時間がない時にも栄養をバランスよく摂れるためには、 どうすればよいか。
- 食欲がない時、どのようなものを食べるとよいか。
- •熱中症予防
- 体が大きくなるには、どのようなものを食べるとよいか。
- 最近ちょっと疲れが出ているので、寝る以外でどんなことをしたらよいか。
- ・貧血予防によい食事は何か
- 朝に果物や牛乳がないとダメなのか。
- 量が食べれない人は何で栄養をとったらよいか。

②評価指標

I 成果指标	西示					
	成果指標項目	現状値	目標値	実績値	評価	備考(取り組み状 況や参考となる
		(%)	(%)	(%)	1.2.3.4	事項等)
食に関する知識の習得状況	「学校給食に秋田県や湯沢市の食材が使われていることを知っている」と回答した生徒の割合	61.2	70		1.2.3.4	
	「野菜の旬の時期を知っている」と回 答した生徒の割合	51.0	70		1-2-3-4	
食に関する意 識の改善状況	「郷土料理を伝えていきたい」と回答した生徒の割合	81.6	88		1-2-3-4	
食習慣の状況	朝食を「毎日食べる」と回答した生徒の割合	93.9	100		1-2-3-4	
	朝食の内容を「主食+おかず+汁」と 回答した生徒の割合	65.2	80		1.2.3.4	
	学校給食を「残さず食べる」と回答した 生徒の割合	73.5	85		1.2.3.4	
調理経験の習 得状況	「家庭で料理をする」と回答した生徒 の割合	63.3	70		1-2-3-4	
	【評価】1:できた 2:おお	むねできた	2.	りできなか	at- 1:5	きなかった
		014 66/2	J. W) &	ソしてなり	7/L 4. C	こらい フに

②評価指標一目標値の設定の仕方一

問5	給食を残さず食べているか。	人数	5月 割合	目標値 人数	目標値割合
1	残さず食べる	36	73.5	42	85.7
2	残さず食べることが多い	8	16.	6人	
3	残すことが多い	5	10.2		
4	いつも残す	0	0.0		
	合 計	49	100.0	49	100.0

Ⅱ活	動扌	旨標						
区分	<u>}</u>	l l	評価	· i指標			評価(特詞	記事項)
食	給食	給食の時間を活用した	食に関する指導が打	推進され、機能	しているか。		1-2-3-4	
1=	の時 間に おけ	□栄養教諭と養護教諭	が連携した指導を言	十画的に実施 ⁻	できたか。		1-2-3-4	
関	る食 に関 する 指導	□手洗いや配膳、食事	マナーなど日常的な	お食指導を維	^退続的に実施で	きたか。	1-2-3-4	
す	10-47	□給食を通して、地域の せることができたか。	の食材や郷土料理、	伝統的な食文	化や栄養的な	特徴等を知ら	1-2-3-4	
る	教科等に	教科・特別活動等にお	ナる食に関する指導	が推進され、	機能しているか	6	1-2-3-4	
指	教科等における食に関する指導	□栄養教諭と養護教諭	が連携して、計画通	5りに授業参画	iできたか。		1-2-3-4	
導	関する指導	□教科等の学習内容に	「食育の観点」を位	置付けて指導	することができ	<i>た</i> か。	1-2-3-4	
連携	食に	教師同士の連携体制が	「構築され、食に関す	よる指導が行れ	つれているか。		1-2-3-4	
	関 古				1-2-3-4			
調整	指導	□家庭や地域、生産者					1-2-3-4	

【評価】 1:できた 2:おおむねできた 3:あまりできなかった 4:できなかった

③全体計画の作成

全体計画①



【生徒の実態】

- ・朝ごはんを毎日食べる生徒 93.9%
- 給食を残さず食べる生徒 73.5%
- ・家庭で料理をする生徒 63.3%
- ・地元で採れる野菜の旬を知っている生徒

51.0%

食に関する指導の全体計画(湯沢市立山田中

字仪教育目標

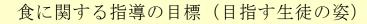
自分の花を咲かせよう ~温かな心をもち、磨き合い高め合う生徒の育成~

変容した姿

平 字生 93.0%

望ましい栄養や食事のとり方 を理解し、日常の食生活にお いて実しできるようにする。

【湯沢市教育行政方針】



食育の視点

- ◇食事の重要性
- ◇心身の健康
- ◇食品を選択する能力
- ◇感謝の心
- ◇社会性
- ◇食文化

(知識・技能)

食事の重要性や喜び、楽しさを理解し、食事を通して自らの健康管理ができる技能を身に付けている。

(思考力・判断力・表現力等)

食事を楽しむために何が必要か考えながら、社会性を身に付けることができる。

(学びに向かう力・人間性等)

地域の伝統や風土を知り、先人によって培われてきた食文化を尊重しようとする態度を身に付けている。



小中連携 について

・小・中系統的な 食に関する指導 計画の到達度お よび児童生徒の 実態の情報交換

各学年の食に関する指導の目標

- ○毎日規則正しく食事を摂ること ○自分の食生活の課題と食環境につ の大切さを理解し、自分の食生 いて理解し、簡単な日常食の調理
- 活を見直すことができる。 ○マナーを考え、会話を楽しみな がら、気持ちよく会食すること
- ができる。 ○地域の産物のありがたさに気づ き, 食に関わる人々への感謝の 心をもつことができる。
- ができる。
- ○食事を通してよりよい人間関係を 構築できるよう工夫することがで きる。
- ○地域の自然の恵みや地域の生産者 に思いを寄せ, 感謝して食べるこ とができる。
- ○食習慣と生活習慣病の関わりを理解 し、食事を通して健康管理ができる。
- ○食事が大切なコミュニケーションの 場であることを理解し,コミュニケー ションを図ることができる。
- ○地域で培われた食文化や食に関する 歴史等を尊重し,感謝の心をもつこと ができる。

食育推進組織

つながる食育 ◎校長、教頭、教務主任、保健指導(食)担当養護教諭、給食指導担当、栄養教諭、学年主任、学級担任

	実 践 事 項
総合的な学習の時間	全 全校生徒でYAMAChuコーポレーション運営 地域活性化のための商品開発や広報・営業・販売活動等で、地産地消をテーマに、「食」メニュー 校 でふるさとの良さを再確認しながら発信し、山田を誇りにする。
給食時間 〇全校一斉指導 ⑥学年指導	○給食時間のすごし方(準備 身支度・後片付け・手洗い等) ○食事マナーを身につけよう ○感謝して食べよう ◎3年生…卒業バイキング給食の実施(給食センターを訪問して)
委員会活動	・健康委員会…「勝負に強くなるために」企画運営、給食点検実施(毎日) 「一口メモ」全校生徒が食マイスター ・広報委員会…「昼の放送」,「もぐもぐタイム」の実施
道徳の時間	A (2) 節度・節制 B (6) 思いやり、感謝 C (14) 家族愛 (15) 集団生活の充実 (16) 郷土を愛する態度 (18) 国際理解 D (19) 生命の尊さ (20) 自然愛護 (21) 畏敬の念
家庭・地域との 連携の取り組み方	・学校だより・保健だより・PTA活動・給食センターだより等,学校から情報を発信することで,家庭の関心を 深め,よりよい食生活に発展することを目指す。
個別相談指導の 方針・取り組み方	・給食時の食事の様子から偏食の多い生徒、家庭からの相談、健康診断結果から個別指導が必要な生徒を対象に実施。必要に応じて関係機関に相談をする。 ・食物アレルギーの生徒への指導助言等を行う。 ・代替給食対応生徒への対応をする。
地場産物の活用	・学校給食年間指導計画に基づいた献立作成 ・ふるさと献立の実施 ・給食一口メモによる地場産物の紹介
食育推進の評価	活動指標:食に関する指導,連携・調整 成果指標:生徒の実態

全体計画②

			4月	5月	6月	7月
	学校行事等		始業式、入学式、 身体測定、春季大会	修学旅行、避難訓練陸 上大会	体育祭、郡市総体、 期末テスト	終業式、 全校被災地視察
推	推進 進行			委員会		
体	制	計画策定	計画策定			
教科・		社会	日本の歩み【2年】私たち	と環境【1年】開国と近代 5の生活と文化【3年】世 環境【1年】東アジアとの 5日本の気候【2年】	世界各地の人々の生活 を結ぶ交通・通信【2年】 年】農業や諸産業の発達 産業【2年】私たちの生活	私たちの生活と文化【3 達【1年】日本の農林水
道徳等		理科	_	年】葉・茎・根のつくりとは 立ち【2年】生物の成長と		D分類[1年]遺伝の規
 公心 	技術·家庭		食生活と栄養【1年】		献立作りと食品の選択【 調理と食文化【2年】	[1年]
合的な	保	健体育				
学習の	花曇りの同こう[1国]握手[3国]ダイコンは大き 花曇りの同こう[1国]ポップカルチャーの今と昔[3英]姉妹 校の友だち[2英]イギリス旅行[2英] 「島唄の心を伝えたい]C-(16)[3年]		な根【1国】ポップカルチ	ャーの今と昔【3英】姉妹	言葉を集めよう【1国】フ ムパーティー【1年】	ェアトレード[3英]ホー
時間			ぼくのふるさとCー(16)	【1年】		
	総合的な YAMAChuコーポレー 学習の時間				ーションによる活動	

目指す姿にたどりつくために、 実施すること

		△級活動 育教材				夏休みの健康で安全な生活		
	生徒会活動		動	健康委員会…〈通年〉	給食当番点検表記入〈	取組み〉栄養教室「勝	負に強くなるために」実	
特別	学	校行	事					
州活動	おうにしよう。 ・手洗い ・身支度 ・準備 ・後片付け			好き嫌いなく食べることができるようにしよう。 ・好き嫌いせずに食べる ・時間内に食べる ・よくかんでバランスを考えて食べる 好き嫌いなく食べる				
		指導		給食について知ろう	朝ごはんの大切さを知ろう	よくかんで食べよう	暑さに負けない食事をし	
	月目標		-				よう	
	旬の食材		材	なばな、春きゃべつ、たけ のこ、新たまねぎ、清美 オレンジ	アスパラガス、グリーン ピース、そらまめ、新たま ねぎ、いちご	アスパラガス、じゃがい も、にら、いちご、びわ、 アンデスメロン、さくらん ぼ	おくら、なす、かぼちゃ、 ピーマン、レタス、ミニトマ ト、すいか、プラム	
学校給食の問	地場産物		物	アスパラガス、ほうれん 草、小松菜、ふくたち、生 しいたけ、なめこ	アスパラガス、ほうれん草、 小松菜、チンゲンサイ、ね ぎ、生しいたけ、なめこ、 ぜ んまい	アスパラガス、きゅうり、 ほうれん草、小松菜、チ ンゲンサイ、ねぎ、みず、 オクラ、じゅんさい、生し いたけ、ぜんまい、さくら んぽ	きゅうり、ほうれん草、小 松菜、きゃべつ、オクラ、 みず、にら、モロヘイヤ、 生しいたけ、すいか	
関連				米、牛乳、枝豆、みそ、				
事項	食文化の 伝承, 行事食等			入学・進級祝い献立	端午の節句	食育月間 歯と口の健康週間	七夕 土用の丑	
	取り入れたいメニュー			春野菜サラダ 春野菜のペペロンチーノ ふくたちのみそ汁	たけのこのおかか煮 ふきの煮物 ぜんまいの煮物 若竹汁 アスパラのソテー アスパラサラダ	みずかやき じゅんさいのすまし汁 ししゃも 小魚 きんびらごぼう	おくらのすまし汁 おくらのみそ汁 夏野菜カレー なすのみそ汁 なすのみそ炒め	
1	固別的な	は相談指	導			-	-	

実 践

全教職員での取組

- ●総合的な学習の時間
 - ●栄養講話
- ●教科、道徳等

地域との連携

- ●生徒へパワーボールの提供
- ●山みん(味噌)の販売協力

栄養教諭の関わり

- ●学校給食一ふるさと献立一
 - ●総合的な学習の時間
- ●食育掲示板の作成
- ●栄養講話
- ●食育レシピ集

全校生徒、委員会活動の 取組

- ●給食一口メモの紹介
- ●ちょこっと食育
- ●小中連携 食育訪問

その他の取組

- ●小中連携
 - •学校保健委員会
 - ・食に関する指導の 全体計画の作成
- ●養護教諭との連携
- ●教員間の情報共有

総合的な学習の時間

全教職員での取組



今年度は、山田の食材を使用した カレー と カレーに合う主食 の開発









開発部 ~メニュー開発、試作~







地元飲食店へのメニューの提供、グリーンマルシェ、 ラウンジ17、イオン、学校祭での販売



学校給食で提供



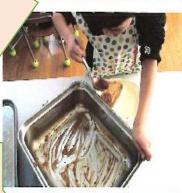




みそが入っていり たなんて、びっくり しました。とてもおいしかったです。 中学生のみなさい ものを作れるない ものを作れるよし た。

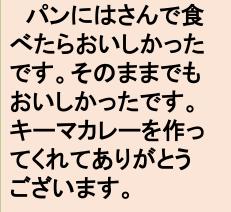


勝ちメシキーマカレーを 食べて、とても中に入って いる野菜が新鮮で、とろみ のあるルーはパンにぴっ たりでした。















校長先生による栄養講話



地域との連携

総体前の勝ち飯 ~パワーボール~



ふるさと献立の提供

栄養教諭の関わり



6月 みずのそくせき漬け じゅんさいのすまし汁

12月 せり蒸し 納豆汁



食育掲示板の作成



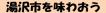














いものご汁 *みそ味としょうゆ味があり ます。10月に登場予定です。 **地産地消とは・・・**自分たちが住んでいる地域で生産されたものをその地域に住む人たちで消費すること

地場産物とは・・・自分たちが住んでいる地

域でとれる食べ物のこと

郷土料理とは・・・その地域で昔かられているものを使い、地域独自の方法 し、食べ続けられているもの



ホットタイム~くだものがおいしい季節です~

山中生からの質問「くだものは、毎日食べないといけないの?」

くだものには、ビタミンだけではなく、いろいろな栄養素や成分がふくまれています。 特に、ビタミン類は、体の中に蓄積しておくことができないため、毎日食事からとる必要がありま す。果物は、手軽にビタミン類を摂取することができる代表的な食べ物ですので、ぜひ毎日の食事 にとりいれてくださいね。

栄養素・栄養成分	効果	おもな果物
ビタミン類	免疫力アップ、風邪予防	柿、キウイフルーツ、みかん、
		オレンジ
カルウム	血圧を正常に保つ	柿、キウイフルーツ、みかん、
		バナナ、もも
果糖	エネルギー源	バナナ
ポリフェノール	生活習慣病予防	ぶどう、りんご
有機酸	疲労回復	みかん、りんご
食物繊維	便秘、生活習慣病予防	りんご、柿、パイナップル、
		バナナ、もも

栄養講話



将来 子どもたちの生きた教材に



3年生卒業記念「学校給食レシピ集」

給食一口メモの放送

全校生徒、委員会活動の取組



ちょこっと食育



小中連携一食育訪問一

その他の取組~小中連携~

学校保健委員会



山田小学校の食に関する指導の全体計画

【生徒の実態】

- ・朝ごはんを毎日食べる生徒 91.3%
- ·肥満傾向児出現率 男子 15.3%, 女子 14.7%
- ・箸や茶碗の持ち方・姿勢・食事の待ち 方等、食事のマナーについて改善や指 導が必要な児童がみられる。

学校教育目標

心豊かに 夢大きく 輝く山田っ子

- Y(優しい言葉と笑顔でやりとげよう)
- M (学びに向かおう)
- D (誰とでもどんなことにも全力で)



(知識・技能)





【第3期秋田県食育推進計画】

- 朝食の摂取率(毎日食べる)小学生 96.0%
- ·肥満傾向児出現率 男子 7.9%, 女子 6.9%
- ・望ましい栄養や食事のどり方 を理解し、日常の食生活におい て実践できるようにする。

【湯沢市教育行政方針】

食に関する指導の目標(目指す児童の姿)

食育の視点

- ◇食事の重要性
- ◇心身の健康
- ◇食品を選択する能力
- ◇感謝の心
- ◇社会性
- ◇食文化



及に因うる相等の日保(日間)

食事の大切さや栄養バランス、地域の食文化について理解し、健康で安全な食生活に関する知識や技能を身に付けている。

(思考力・判断力・表現力等)

心身の健康や成長についての望ましい生活習慣を理解し、自ら健康管理ができる。

(学びに向かう力・人間性等)

食事のマナーや食事を通じて、適切な人間関係形成能力を養う態度を身に付けている。

その他の取組~養護教諭との連携~

湯沢市養護教諭部会での講話

食に関する指導の 手引の改訂について



食育フォルダの作成

- ●食に関する指導の全体計画 山田小、山田中
- ●評価指標
- ●食に関する指導の全体計画の枠
- ●各種アンケート

食育の推進に対する評価





評価の基本的な考え方

食育の評価

成果指標(アウトカム)

成果指標(アウトカム)の評価 項目例などを活用 (254ページ) 資料

- ○食に関する知識
- ○食に関する意識
- ○食習慣
- ○生活習慣
- ○肥満•痩身
- ○地産地消・国産食材活用等

活動指標(アウトプット)

活動指標(アウトプット)の評価項目例などを活用 (256ページ) 資料

- ○食に関する指導
 - ・給食の時間
 - •教科等
 - •個別的な相談指導
- ○給食管理
 - •栄養管理
- •衛生管理 等

食育の成果と課題の把握









成果指標(アウトカム)の評価

全体計画の作成時に作成した評価指標の目標値を基準に取組による変化を評価 → 量的な評価と質的な評価

活動指標(アウトプット)の評価

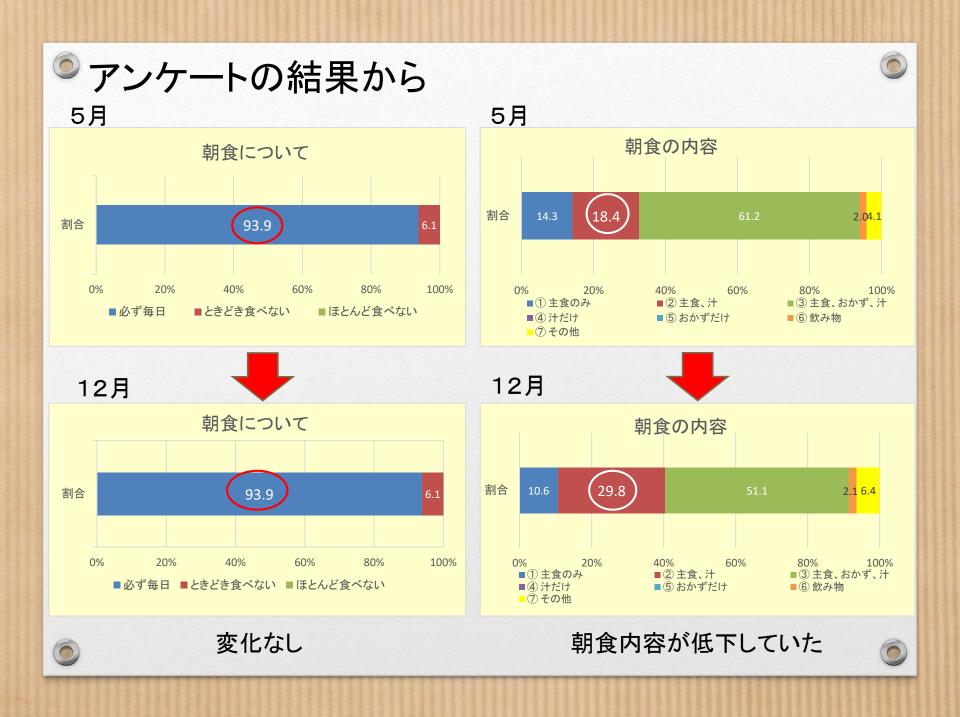
学校における食育の取組状況等に対する評価で、全体 計画の作成時で設定した活動指標にそって行う

- ○その取組に関わった実施者による自己評価
- ○第三者の視点も交えて複数で行う客観的な評価

成果と課題を明確にし、全教職員で共有する →次年度の目標設定につなげる







≪朝食の内容が低下した原因として考えられること≫

・起床時間が遅い生徒が増えた
 7時以降に起きる生徒数
 5月 1,2年生 O人 → 12月 1,2年生 7人
 5月 3年生 4人 → 12月 3年生 6人

・就寝時間が12時以降の生徒が、起床時間も遅い朝食パターン「主食、汁」が多い傾向がある



朝食の食事内容だけではなく、生活習慣もふくめた指導が必要







60%

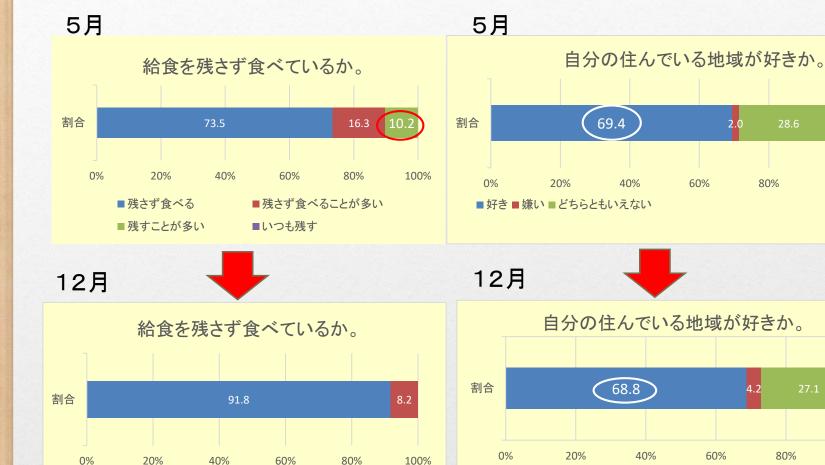
60%

■好き ■嫌い ■どちらともいえない

80%

80%

100%



■残すことが多い

「残すことが多い」と答える生徒なし

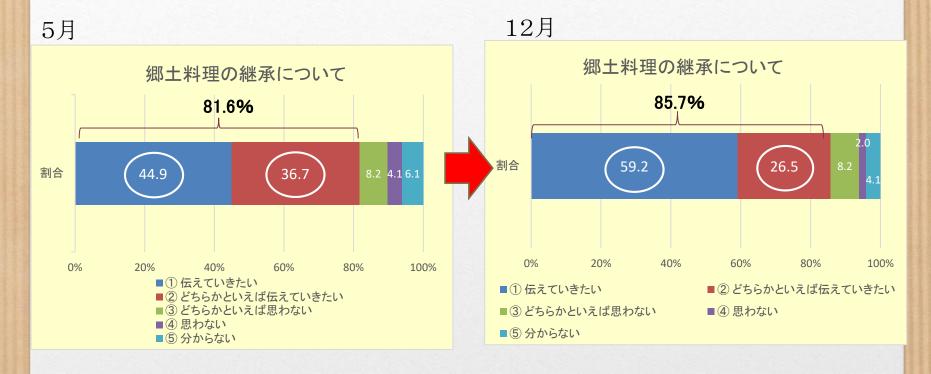
■残さず食べることが多い

■残さず食べる



100%





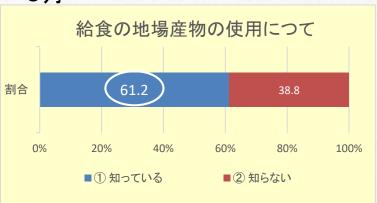
「思わない」「分からない」という生徒 が減少し、郷土料理を伝えていくべ きだと考える生徒が増加した







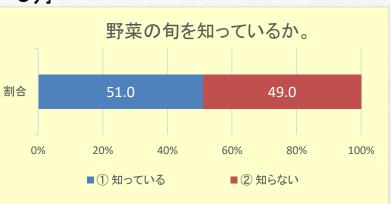




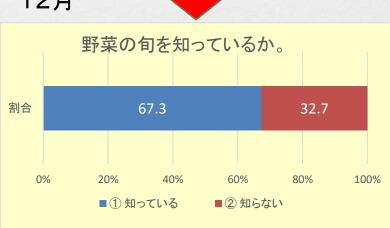
12月



5月



12月





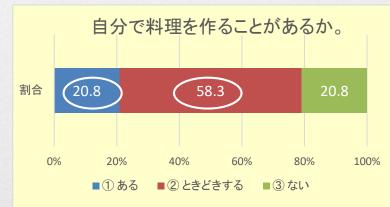


5月



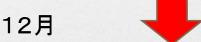






料理を作る生徒が増加した。











I 成果指標							
成果指標項目		現状値	目標値(実績値	(評価)	備考(取り組み状況や参考と	
		(%)	(%)	(%)	1 2 3 4	なる事項等)	
食に関する知識の習得状況	「学校給食に秋田県や湯沢市 の食材が使われていることを 知っている」と回答した生徒の 割合	61.2	70	100.0	1)2.3.4	総合的な学習の時間や給食ーロメモ、食育掲示板の効果があったと言える。	
	「野菜の旬の時期を知ってい る」と回答した生徒の割合	51.0	70	67.3	1.2.3.4	アンケート調査に、まだうろ覚えのところがあるので、しっかり覚えたいという記述があり、 関心の高まり感じることができ や。今後も継続した指導が必要である。	
食に関する意 識の改善状況	「郷土料理を伝えていきたい」 と回答した生徒の割合	81.6	88	85.7	1.23.4	総合的な学習の時間や給食ーロメモ、食育掲示板の効果が あったと言える。	





1				
10	6	-	à	
(Q	1	J	
1	ä		/	

成果指標項目		現状値	現状値 目標値		(評価)	備考(取り組み状況や参考と	
		(%)	(%)	7%7	1.2.3.4	なる事項等)	
食習慣の状況	朝食を「毎日食べる」と回答した生徒の割合	93.9	100	93.9	1.2(3)4	数値の変化はなかったが、朝 食を欠食する回数が減った生 徒がみられたので、継続した 指導を行うことで、さらに改善 が図られると考えられる。	
	朝食の内容を「主食+おかず +汁」と回答した生徒の割合	65.2	80	51.5	1.2.34	朝食の指導については、教科 等と連携を密にし、さらに家庭 との連携を図りながら進めてい く必要がある。	
学校給食での 栄養摂取状況	学校給食を「残さず食べる」と 回答した生徒の割合	73.5	85	91.8	1)2.3.4	「毎日給食を残す」と答えた生徒が、12月の調査で0%となり、指導の効果があったと考えられる。	
調理経験の習 得状況	「家庭で料理をする」と回答し た生徒の割合	63.3	70	79.1	1)2.3.4	技術家庭科や総合的な学習の時間に食について学習を進めていったことで、食への関心が高まり、家庭での調理への参加が高まったと考えられる。	
【評価】 1:できた 2:おおむねできた 3:あまりできなかった 4:できなかった							





Ⅱ活動指標 評価(特記事項) 評価指標 区分 1(-2)3-4 食 給食の時間を活用した食に関する指導が推進され、機能しているか。 給食 の時 1)2.3.4 間に 口栄養教諭と養護教諭が連携した指導を計画的に実施できたか。 1= おけ る食 に関 1(-2)3-4 |ダラ|<mark>|口手洗いや配膳、食事マナーなど日常的な給食指導</mark>を継続的に実施できたか。 関 口給食を通して、地域の食材や郷土料理、伝統的な食文化や栄養的な特徴等を知ら 1)-2-3-4 せることができたか。 す 教科等における食に関する指導 1(-2)-3-4 る 教科・特別活動等における食に関する指導が推進され、機能しているか。 1(-2)3-4 指 口栄養教諭と養護教諭が連携して、計画通りに授業参画できたか。 1(-2)3-4 導 口教科等の学習内容に「食育の観点」を位置付けて指導することができたか。 1(2)3-4 食 連携 教師同士の連携体制が構築され、食に関する指導が行われているか。 す 1(-2)3-4 □栄養教諭は、養護教諭、教諭と連携して指導ができたか。 指 1(-2)3-4 導 調整 口家庭や地域、生産者等と連携を図った指導ができたか。





成果と課題

【成果】

- ○校長のリーダーシップのもと食に関する指導を進めていくことができた。
- ○何を中心に食に関する指導を進めていくかを、教職員間で 共通理解を図ることができた。
- ○栄養教諭が食育を行う場合、技術・家庭科や保健体育の授業が多いが、それ以外の教科等でどう関わるか模索することができた。
- 〇食を通して地域の方々と関わりを持つことができた。
- 〇生徒が様々な場面で、地域理解を深めることができた。
- ○食を通して、たくさんの人たちが関わっていることを知り、 食の大切さを考えるようになり、給食の残量が減った。









成果と課題

【課題】

- ▲朝食の喫食率、食事内容の変容を図るためには、 やはり、各教科の中で系統的な指導を行い、さらには 給食指導や委員会活動の中で継続指導を行う必要が ある。
- ▲次年度以降、家庭とどのように連携していくかの検討が必要である。また、少人数だからこそ見えてくる個に対しての支援や指導も検討したい。
- ▲目標値を決める際は、実態把握をもとに、高すぎる目標 にならないように検討する必要がある。



終わりに

今年度の取組

- ・総合的な学習の時間・・・食の視点も踏まえたふるさと理解
- ・学校給食・・・栄養バランス、地産地消
- •委員会活動

一様々な手立てで「食」を取り上げた一 ふるさと理解を通した食に関する部分は達成

来年度以降の取組

養護教諭・栄養教諭が中核となり進めていく食に関す指導

キーワード「健康づくり」

山田中学校の課題

「起床時間→朝食→昼食→夕食→就寝時間」の乱れ

⇒食に関す指導から、さらに生涯を通した健康づくりへ





